

：美来、昔から、シシ・シカなどの動物と人間の間には常に軋轢あつれきがあつて、農民は被害を受けとつたんじゃよ

生活の糧かてにもなつとつた。

じゃけえ農家や專業の獵師りようしの人が捕とつていたんじゃ

それが今は多くの日本人は都会の生活を好んで、農家や獵師りようしのなり手がおらん

残こつた人は高齡化こうれいかしていなくなつてきておつてわしらも含まふくれるが――

そういう状況じょうきょうの中町は活気が減り

逆にシシ・シカが町に出てきてしまい、被害が大きくなつとるんじゃよ

…なるほど。

日本人が都会の生活を好んで…か

おじいちゃん、これから被害の対策はどうしたらいいのかなあ？

田んぼだけじゃなく、畑や森の中まで被害は進んぞる

・シカが笹やぶを食べて鳥が住める場所がなくなる

・イノシシが絶滅しうな植物を掘りかえす

などなど



このままじゃと、  
一希や美来たちの住む  
都会まで被害は進んで  
いくじゃろうのお



そう  
なんだ…

うーん、山のふもとの街でも  
被害が出てるみたいだ



ト  
ト  
ッ



なんとか  
しないと

えええッ！  
それは  
大変じゃん！！

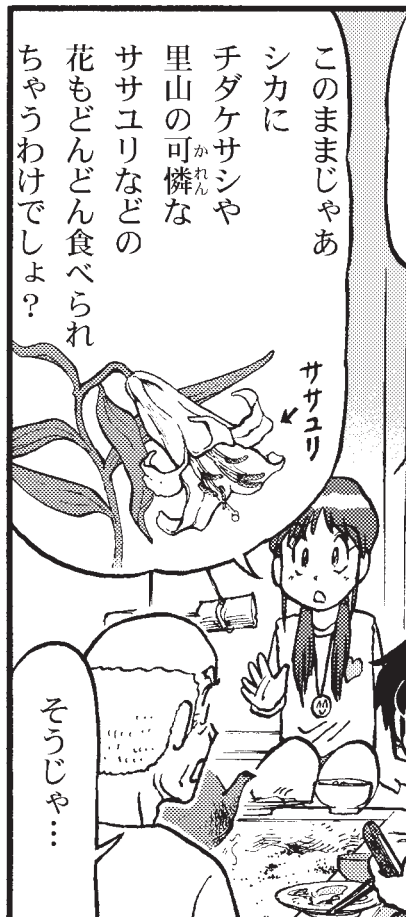
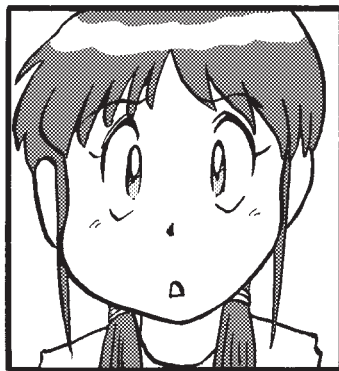


シシに人がかまれたり、  
車との衝突事故も  
起こつとる



…駆除じゃ

田畑に柵を巡らせ  
追い払うだけじゃあ  
山や都会で被害が出る



このままじゃあ  
シカに  
チダケサシや  
里山の可憐な  
ササユリなどの  
花もどんどん食べられ  
ちやうわけでしょ？

ササユリ

どうしたら  
いいの？

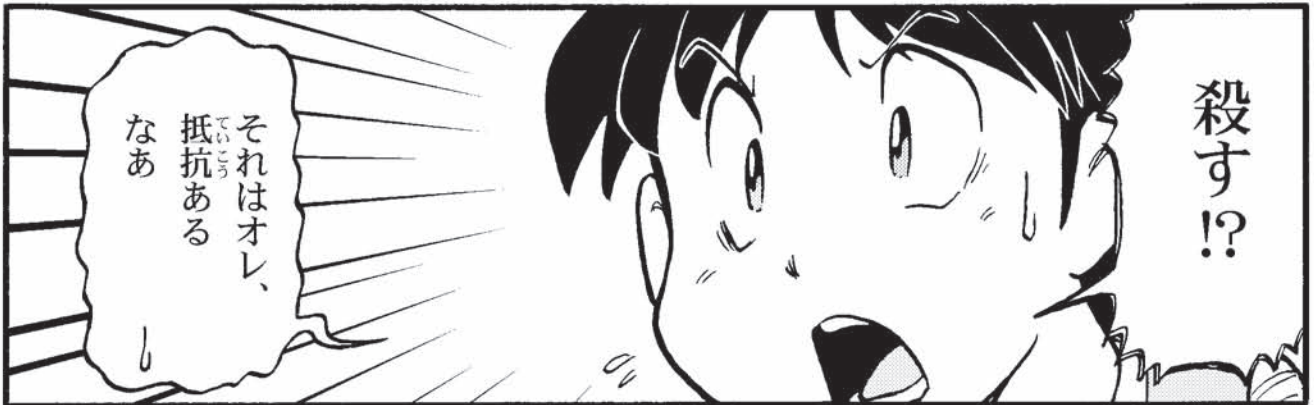
そうじゃ…



そう。  
かわいそうじゃが、  
殺して数を減らす  
しかないんじゃ



えっ  
駆除って…  
もしかして…



殺す!?

それはオレ、  
抵抗ある  
なあ



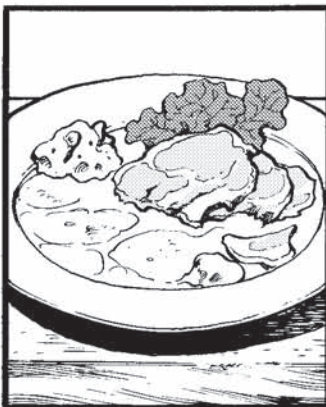
お前は殺した  
ブタを食べて  
おるんじゃ



ブタはイノシシが元祖なの!?



一希…  
今、お前が  
食べておる  
ブタのハム  
ブタはシシを人間の  
都合のいいように品種改良  
したもんじゃないよ



ええ!?



うーん



元は生き物だったんだよね

わたしたちは他の生き物の命をもらって生きてるんだ…



そうか…  
そうだよね。  
そんなこと考えたことなかった

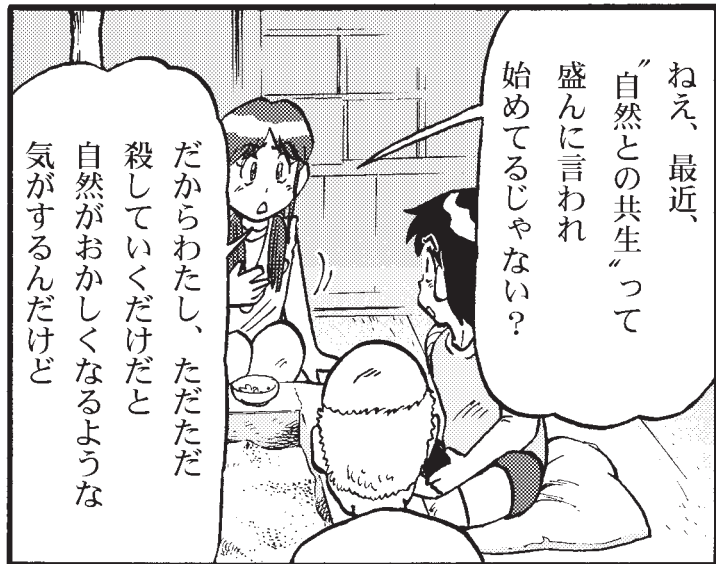
なんだか  
おいしく  
なくなつて  
きちゃつたよ

ちよつと生々しく  
言い過ぎて  
しまつたかのお



わしもそう思うとる  
わしは米作りを長年やってきて、台風、日照りなど体験してきた

自然は人間の  
思うように  
ならん。じゃが…



ねえ、最近、  
“自然との共生”って  
盛んに言われ  
始めてるじゃない？

だからわたし、ただただ  
殺していくだけだと  
自然がおかしくなるような  
気がするんだけど



米も野菜も少し  
くらいなら動物に  
くれてやってもええが、  
根こそぎ食われては  
暮らしが成り立たん。  
困つた問題じゃ



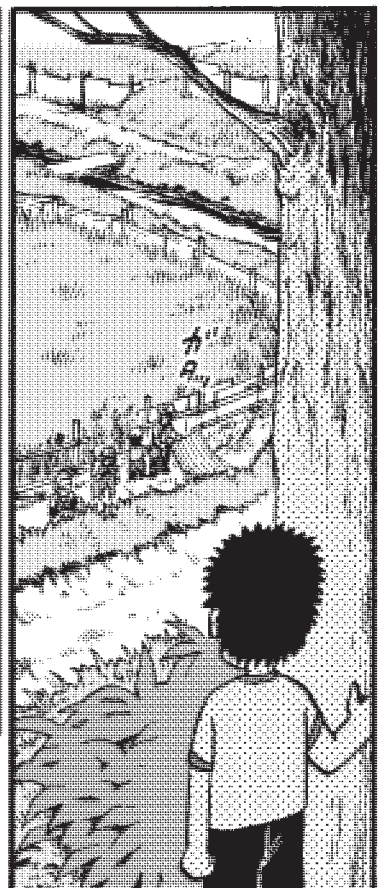
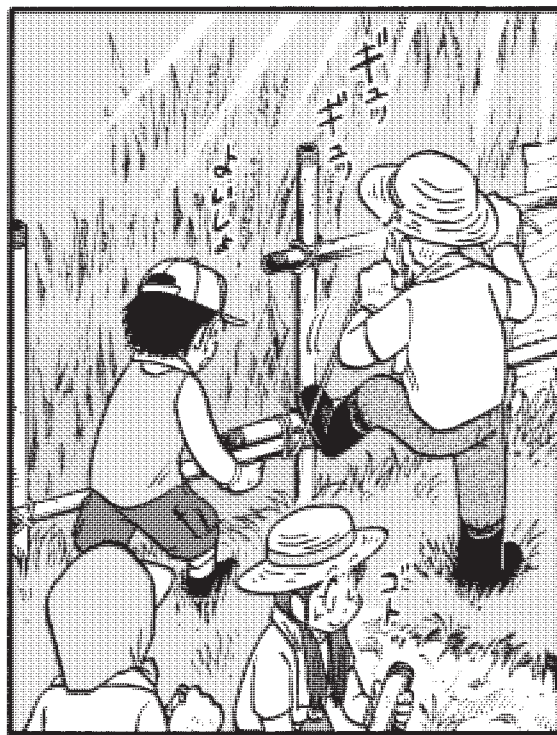
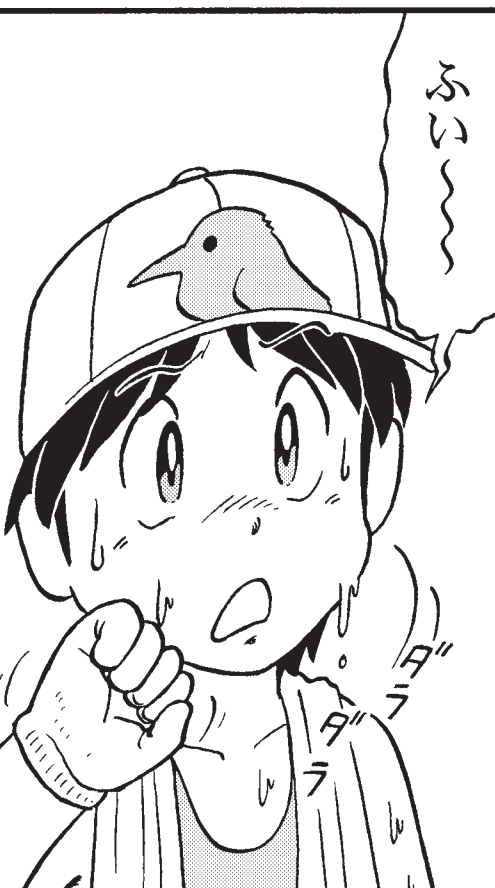
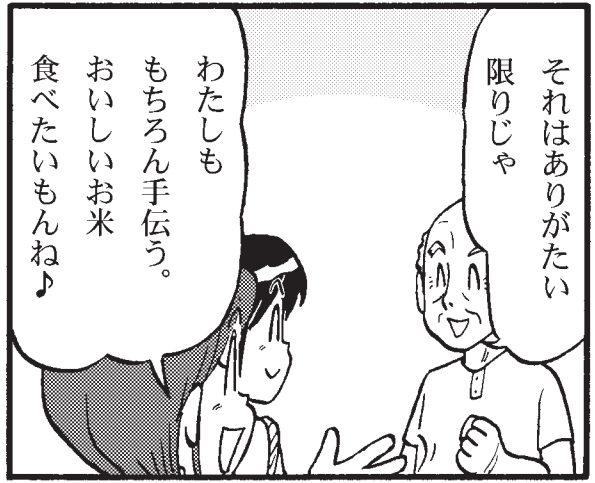
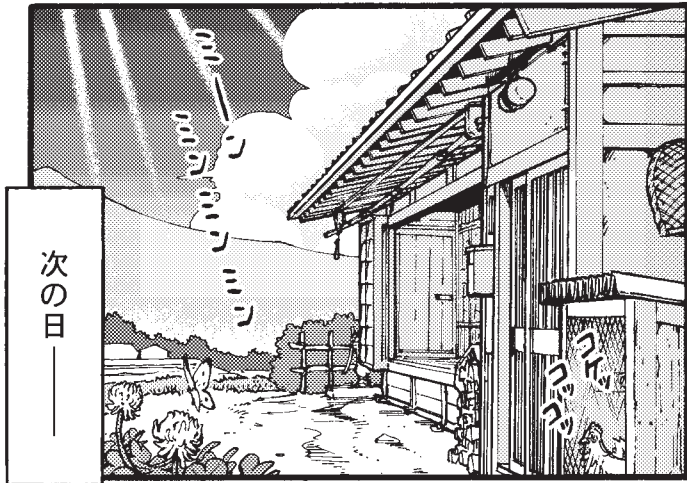
なんか色々検査けんさじゃ  
出てくるけど…

自然との共生？  
オレ知らないな…



それをよく  
日々の自然との  
関わりを  
通じてわかつた  
上で、

シシやシカを駆除して、  
ほどよい頭数にして  
いかなくはならん  
思うとるんじゃ



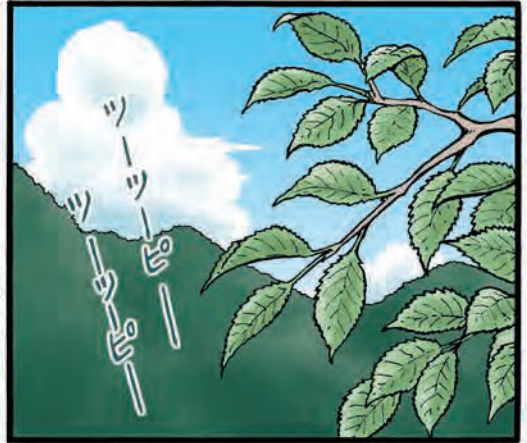
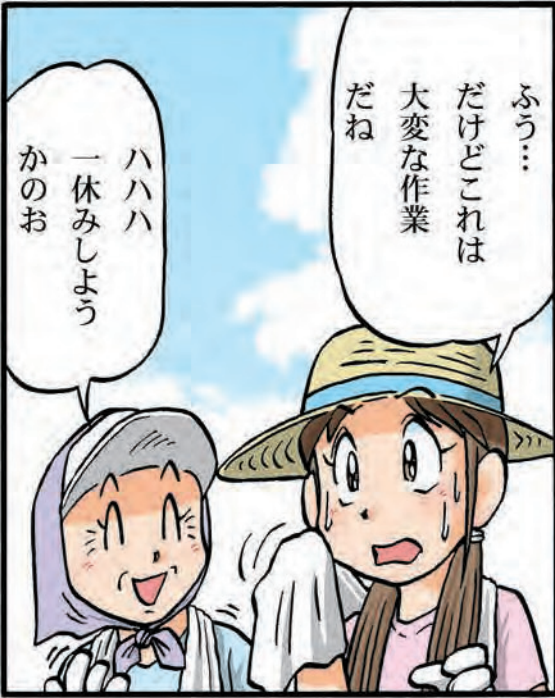
じいちゃん、  
これで  
だいたい  
頑丈な  
囲いは  
できたね！

ああ  
助かったぞ。  
一希、美来の  
おかげで早く  
済みそうじゃ



ふう…  
ただこれは  
大変な作業  
だね

ハハハ  
一休みしよう  
かのお



なーんかオレ  
この景色見ると  
日ごろ学校や塾とかで  
バタバタしてることが  
どうでもよくなって  
くるなあ

